



2012年
7月27日(金)～31日(火)
元・立誠小学校教室

協賛募金名簿

協賛：京都アートカウンシル

個人協賛：相沢まり子 稲尾健二 大田眞素巳 岡部 昭 オザキユタカ 小野章男 片尾照子 木村勝明 小池美紀 小山景子 佐藤かつのり 新谷香織 滝口未矢子 竹内 創 田畑禮子 津川純子 中津川ヒロ子 鳴海由光 根木山和子 藤波佳子 宮本和郎 山田みづえ 遠矢浩子 吉田光正 宮田啓子 宮良瑛子 山内比呂子 首藤教之 渡辺亜子 渡辺皓司 落合峯子 篠崎カツミ 石井恵美子

NIHON-BIJYUTSU-KAI (JAPAN ART ASSOCIATION)

Heiwa to Roudou center 9F 2-4-4 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0034 Tel 03-5842-5665 Fax 03-5842-5666
http://www.nihonbijyutukai.com/ E-mail:nichibi@nihonbijyutukai.com

10周年記念・2012

日韓美術交流 京都展

JAPAN & KOREA
ART EXHIBITION



日韓美術交流10周年に想う

日本美術会代表 首藤教之
交流10周年に際し、今までの御交誼に深く感謝の御挨拶を申し上げます。

思えばこの間、何百人が相互に往来し、何千人が交流展の作

品に接したか。

「近くて遠い国」という言葉がありますが、初めての交流を体験した人々は、歴史と風土が密接している韓国について、たしかな認識を自らの中に築いて行ったことと思います。参加者の感想文の中にはこんな言葉があります。「はじめて眼にする韓国の風景は、特に農村は、穏やかで言い知れぬ懐かしさを誘った。またそうである程、日本が現代史の中で侵したあやまちの歴史を重く振り返られた。」「日韓の関わりを1000年のスパンで見ると眼をやしないながら、近代・現代へ眼を向けたい。」これらは交流展の参加者すべてに湧き起こった感懐でしょう。

さて、昨年3月に東日本で起こった大地震と深刻な原発事故は私たちの生活と意識に重い影響をもたらしました。私たちはこの「3.11」以降の再出発を想うならば、物質生活・精神生活の両面での人間性の回復を目指す決意をしなければならんと思っています。このような現代世界の新しい試みについて、私たちは貴国芸術家の皆さんへも協同を呼び掛けたいと願います。この大切な課題を考えますと、私たちの交流活動はまだ一歩踏み出したばかりと言わねばならないでしょう。

私たちは今後の交流の内容と形について、良い発展のための努力を強めて行きたいと思ひます。

アジアと世界の、良心の上に立った文化美術の発展の為、共同の活動を進めましょう。これからもよろしくお願いいたします。



心が通じ合う韓・日美術
交流展

今年、第10回目の韓・日美術交流展を迎えることが出来て嬉しく思っております。また、今回は京都で開催され、

私達も京都に訪問することができたことを心から感謝いたします。

韓国の諺に「10年になると山と川が変わる」という言葉があります。10年という長期間交流してくださった日本美術会の会長、会員の皆様に心を込めて感謝の念を申し上げる次第です。このように、交流を維持し、発展していただくことができたのは、韓国会員と日本美術会会員の皆様と、関わって下さった方々のおかげだと思っており、皆様の努力の結果だと存じております。

私たちは時間の流れの中で変化する美術文化を会員の作品との出会いをもって交感して来たと思ひます。美術家たちの出会いの場である韓・日美術交流展は日増しに両国の暖かい芸術世界の理解を深め、創作の意欲を吹き込む基礎になっていると思ひます。

「心が通じ合う韓・日美術交流展」が、これからも多様な方面に発展していく交流展になりますように期待しています。真にありがとうございます。

公州 韓・日 美術交流会長 李忠雨より

한일 미술교류 10 주년에 대한 생각

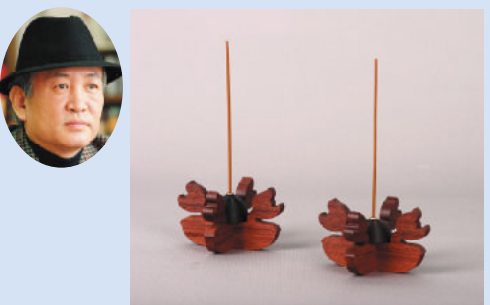
일본미술회 대표 슈도우 노리유키
교류 10 주년에 즈음하여 이제까지 호의에 대해서 진심으로 감사를 드립니다.
생각하건대 현재까지 미술인 수백명이 양국을 왕복하였고 수천명이 교류전 작품을 접하였습니다.
「가깝고도 먼 나라」라는 말이 있습니다. 그러나 처음으로 교류를 체험한 사람들은 우리일본과 역사 그리고 풍토가 밀접해 있는 한국에 대해서 확실한 인식을 자기 스스로 마음 속에 구축해 간다고 생각합니다.
어떤 참여작가는 방문 추기에 이런 글을 썼습니다.「처음 눈으로 본 한국의 풍경, 특히 농촌은 평온해서 말할 수 없는 그리움을 일으켰다. 이렇게 느끼면 느끼수록 일본이 현대사 속에서 침범한 잘못된 역사를 깊이 돌이켜보게 된다.」 「한일 관계를 1,000 년의 스팬(span)으로 보는 눈을 기르면서, 근대 · 현대로 눈을 돌리고 싶다.」 이러한 것들은 교류전 참여자 모두에 끓어오르 것입니다.
작년 3 월 일본에서 일어난 대지진과 심각한 원전사고는 우리들의 생활과 의식(意識)에 대해서 많은 영향을 초래하였습니다.
우리들은 「3.11」 이후의 재출발을 생각할 때, 물질생활, 정신생활의 양면에서 인간성 회복을 목표로 하는 결의를 해야 한다고 생각합니다.
이러한 현대세계의 새로운 시도에 대해서 귀 국가 예술가 여러분들의 참여를 요구합니다. 이 중요한 과제를 생각하면 우리들의 교류활동은 이제 한 걸음에 불과하다고 말할 수 있습니다.
우리들은 앞으로 교류내용과 방법에 대해서 좋은 발전을 위한 노력을 강화해야 할 것이라 생각하며 아시아와 세계의 양성있는 문화미술 발전을 위해 활동을 같이하여 줄 것을 부탁드리고자 합니다.

올해로 10 회를 맞이하는 한일미술교류전을 맞이하게됨을 진심으로 기쁘게 생각합니다.
또한 이렇게 교도에서 개최하게되고 저의 회원들이 교도를 방문할수 있는 좋은 기회가 되어서 더욱 기쁘게 생각합니다.
한국측당에 10 년이면 강산도 변한다는 말이 있습니다. 10 년이라는 긴 시간 동안 변함없이 함께해준 일본미술회 회장님을 비롯한 회원님들께도 진심으로 감사하게 생각합니다.
이렇게 변함없이 유지하고 발전해 올수 있었던것은 한국회원들과 일본 회원들, 그리고 이전의 임원들의 많은 노력의 결과라고 할수 있습니다. 우리는 시간의 흐름속에서 변화하는 미술문화를 회원들의 작품과의 만남으로 교감해 왔습니다. 미술인들의 만남의 장인 한일미술교류전은 해를 거듭할수록 양국의 따뜻한 마음과 예술세계를 이해하는데 큰 도움이 되었고 창작의욕을 고취시키는 초석이 되었습니다.
“마음이 교감하는 한일미술교류전” 앞으로도 다양한 방법으로 발전하는 교류전이 되기를 기대합니다. 감사합니다
공주한일미술교류회 회장 李忠雨

구권환(丘權煥)koo Geoun-hwan
제목 : 얼(spirit)
2009 도예개인전陶藝個人展 (林立美術館)
2009 도예개인전陶藝個人展 (藝術의殿堂)



김명태(金明泰)Kim Myeong-Tae
제목 : 春の香-1208
韓國 藝總 藝術文化賞 受賞
淸州國際工藝 Biennale 招待作家,審査委員



김건수(金建秀) , Gun-soo Kim
제목 : Alien 2012
B.F.A Hongik University(Seoul, Korea)
3 times for Solo Exhibition(Ireland & Korea)



김정호(金政虎)Kim Chung Ho
제목 : Rembering-04
3 Private Exhibitions(1997,2004,2011)
Invited 2004 Seoul Art Exhibition,
2010 Bargeous, London



「振り返って・・・10年」 渡辺皓司
早いもので2003年に韓国公州市文芸館で開催された「韓日美術交流展」から今年、京都で開かれる交流展で10回展を迎える。この韓国と日本の地で交互に交流展を重ねてきた10年の意味は大きい。
公州市は古く百済の時代から日本との関わりある地域であり、文化的に「ふるさと」の親近感がある。だが同時に、日本が犯した朝鮮半島への侵略、植民地化の消えることのない歴史的事実を許せぬものとして、私たちは会創立時から認識していたこと、その謝罪をこめて、公州の皆さんにまず伝えることが交流の第一歩とした。そこから新しい日韓関係の時代を生み出したいと思った。美術の交流を軸にしながら、相互理解を深める上で人的交流が重要な役割を果たさだろうと思った。人間的触れ合いによって開かれる魂の響きあいは、大きなエネルギーになると思った。この10年、共鳴する音色は確かに高まっている。

しかし反省すべき点が無いわけではない。残念なのはお互いが目指す創造活動の方向やその表現の課題、作品を下敷きとした具体的な討論や研究会などの機会が持てなかったことである。時間的なゆとり、言葉の問題もあるがそれを乗り越えていきたい。交流のあり方もいろいろ模索してみたい。

지난 10 년을 회고하면서
와타나베 코우지
「한일미술교류전」은 2003 년 한국 공주시 문예관에서 개최한 것을 시작으로 올해 교도에서 열리는 교류전까지 벌써 10 번째를 맞이한다. 이렇게 한국과 일본, 양국에서 서로 교류전을 거듭해 온 10 년의 역사적 의미는 매우 큰 것으로 생각한다.
공주시는 과거 백제시대부터 일본과 밀접한 관계를 유지하고 있는 지역으로 우리 일본에게는 문화적 측면에서 「고향」이라는 친근감이 있다.
하지만 동시에 일본미술회(日本美術會) 창립시부터 인식하고 있었던 것은 일본이 한반도에 병합 침략, 식민지화 등 사라지지 않는 역사적 사실을 용서할 수 없는 것이다.
그래서 공주지역의 작가 여러분에게 우선 시죄를 전하는 것으로 미술교류를 시작으로 하였으며 이러한 과정을 통해 한일간의 새로운 관계를 내딛고 싶은 생각이다.
미술교류를 축으로 인간적인 소통을 하면서 서로를 깊게 이해할 수 있는 중요한 계기가 될 것이라 생각 되어진다.
이러한 인간적인 소통에 의해 개최되는 혼의 놀라움은 큰 에너지로 전환 된다고 여겨진다. 이렇게 이끌어 온 10 년은 음악에서의 공명하는 음색이 높아지는 것과 같다.
그러나 반성해야 할 점이 없는 것은 아니다. 유감스러운 것은 서로가 목표로 하는 창조 활동의 방향, 그 표현의 과제, 작품을 바탕으로 한 구체적인 토론, 연구회 등의 기회를 가질 수 없었던 것이다.
시간적인 여유와 서로의 언어 문제도 있지만 그것을 극복해 가며 교류의 본연 의 자세도 여러가지로 모색해 보고 싶다.

김경숙kim Gyeongsuk
제목 :
韓國美術協會公州支部展
忠南美術協會會員展



김종서(金涼瑞)Jong Seo Kim
제목 : Wave 2012(Table Ware)
個人展"Work of Mirror Art","Work of Light and Mirror"
Seoul Living 家具博覽會, 韓國美術協會



김지광(金知光) Kim Ji Kwang
제목 : human & nature - 市场行くの道
忠南大學校教授作品展外 企劃 招待 250 回
韓國美術協會 理事



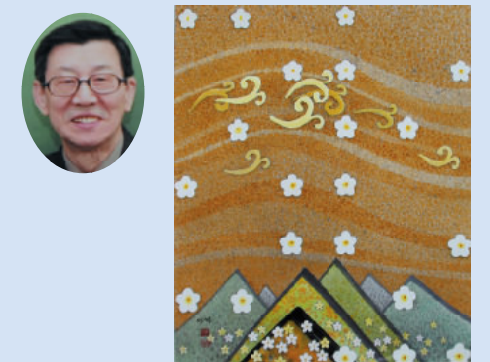
박노필(朴魯必) Park, nopil
제목 : 日月圖
韓國美術協會展
韓日美術交流會 事務局長



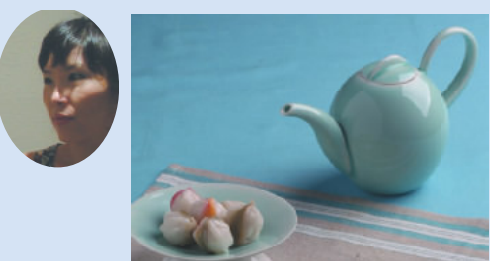
신동수(申東秀)shin,dong su
제목 : sprout
韓國美術協會 彫塑分科 委員
公州美術協會 副會長



이석구(李錫九)Lee seok-gu
제목 : 生成 (formation) 12-7
個人展 8 回
韓國美術協會 諮問委員



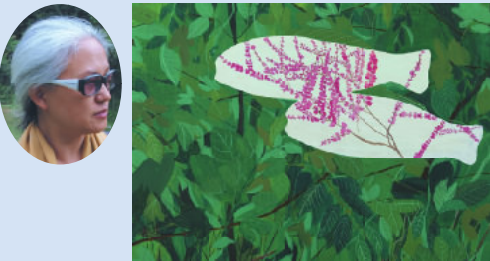
노혜신(盧德信)Ro Hae Sin
제목 : pot
Visiting Artist at the National Art School & University of NSW
9th solo exhibitions



박홍순(朴洪淳)Park Hong Soon
제목 : 楊貴妃
個人展 15 回
KOREA, RUSSIA, MOLGOLIA 交流展



안혜경(安惠卿)An, Hye-Kyung
제목 : Reading of Nature
2012 SPRING(Gonju, Korea)
2004 MONG-YU(Songeun Gallery ,Seoul,Korea)



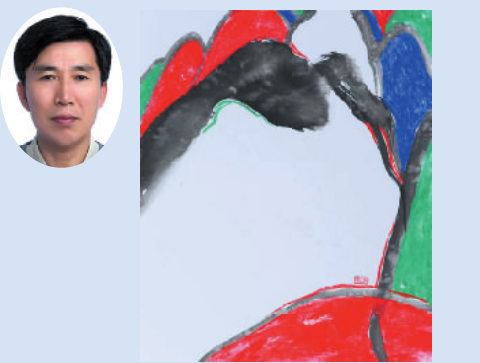
이종수(李鍾洙)Lee jong soo
제목 : Wait-02
2011 Solo Exhibition 1 th
2008 Korean Crafts Council Sensitivity, crafts, beauty Exhibition, Becoming Art Gallery invited ,Seoul, Korea



민윤식(閔琬植)min yun sik
제목 : 洞里
個人展및group 展, 多數
大韓民國 美術大展 入 . 特選



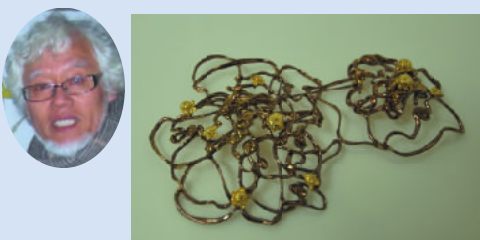
백인현(白仁鉉)PAEK, IN-HYUN
제목 : 樂山樂水- 鷄龍山 2012
2012 白仁鉉 韓紙民藝品 招待個人展
2005 海外訪問教授(中国北京)



오경덕Ae, KYEONG DEOK
제목 :



이충우(李忠雨)Lee chung woo
제목 : 열매브로치
청도 명가 미술관 초대전(2010)
중국항주 SILK&WOMEN'S WEAR FAIR 주얼리쇼(2011)



이호신(李浩信)LEE, HO-SHIN

제목 : 沙鉢

韓国美術協会員

韓国工芸家協会員



KOREA

相沢まり子 Aizawa Mariko

金沢美術工芸大学油絵科卒

日本美術会会員 石川美術会会員

写真作品 「鎮魂」 水彩 103×60cm

Requiem



オザキユタカ Ozaki Yutaka

1949 山形県生れ 山形大学美術科卒

日本アンデパンダン展 新しい人の方へ展

日本美術会会員

写真作品 「隣国の詩」2012 油彩 50S

Poetry of the neighboring country



佐藤かつのり Sato Katsunori

1964 朔日会 1967 日本美術会会員

2011 フランス・スペイン・イタリア取材

写真作品 「雲見/西伊豆」 油彩 F15

The clouds of NISHIZU



최기성(崔基成)Choi, Ki-seong

제목 : 眞境 - 大資本主義

韓國美術協會 等 各種 團體展 400 餘回

國際交流展 (美國,中國,日本,獨逸 等)



池田優子 Ikeda Yuko

1995~橋本和明氏に油彩画を学ぶ

2002~職美展出品

2006~日本アンデパンダン展出品

2009~日韓交流展

写真作品 「水の中の青春」油彩 F25

Underwater youth



落合肇子 Ochiai Mineko

1942 岩手県宮古市生れ

1965京都市立美術大学西洋画科卒 (現芸大)

個展22回 新美展 双線展等多数に出品

写真作品 「3・11を忘れないー鎮魂花」パステル 85×65cm

Not forget 3.11.



首藤教之 Shuto Noriyuki

1950 '60年代「現代芸術の会」等前衛美術運動に参加

1964年日本美会 日本アンデパンダン展他グループ展

写真作品 「アイコン2012」ミクスト

Icon 2012



岡部 昭 Akira Okabe

日本アンデパンダン展1958~

ブナの原生林をテーマに40年間

光風会展1976~ 個展29回

写真作品 「森と妖精」 工芸美術・彫金

Woods and a fairy



小山景子 Koyama Keiko

広島平和美術展 日本アンデパンダン展 地平展 日本美術会会員

写真作品 「原爆痛い魂」油彩 F50

Atomic bomb a painful soul



新谷香織 Shintani Kaori

日本美術会付属研究所卒

日本アンデパンダン展、グループ展

写真作品 チェルノブイリと福島(部分) ミクスト

Chernobyl and Fukushima



滝口未矢子 Takiguchi Miyako

日本アンデパンダン展 日韓美術交流展 ヨコスカ平和美術展

ぶらひだ展 個展等

写真作品 「絶え間なく続いてゆくもの」油彩

Continues continually



根木山和子 Negiyama Kazuko

職美展 日本アンデパンダン展 グループ展 個展数回

ここ数年は楮(和紙)を使つての作品をつくり発表

写真作品 「2011年和紙祭り出品作」和紙造形

Work of 2011 Japanese paper festival

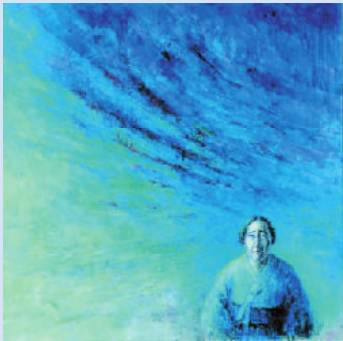


宮良瑛子 Miyara Eiko

沖縄平和美術展実行委員会副委員長

沖縄県文化功労者賞受賞 沖縄県芸術美術部門運営審査委員

写真作品 「オモニ・幾星霜」 ミクスト S100



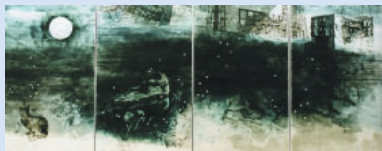
山下二美子 Yamashita Fumiko

日本美術会会員 日本アンデパンダン展に出品

個展 グループ展 多数

写真作品 「氷輪・風下の地」 アクリル 130.3×321.2cm

cy ring Lee ground

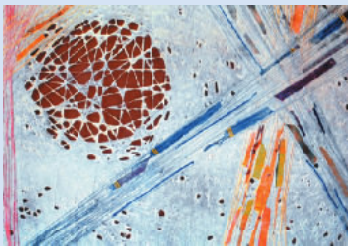


田畑禮子 Tabata Reiko

和紙造形展 グループ展 日本アンデパンダン展出品

写真作品 「異境への想い」和紙造形 F30位

Thought to a foreign land



宮下 泉 Miyashita Izumi

1948東京生れ

1972年東京造形大学卒業

1973年~個展・グループ展多数

写真作品 「おにぎり」 平面

ONIGIRI



百瀬邦孝 Momose Kunitaka

日本アンデパンダン展 地平展等へ出品

個展 グループ展 日本美術会会員 地平会員

写真作品 「センダン草の群れ」 日本画 92×78cm



山田みづえ Yamada Mizue

日本美術会会員 日本水彩画会会員

講談社フェーマス・スクールOB

写真作品 「メガ・ソーラーコネクション」 アクリル F40

Mega- solar connection



遠矢浩子 Toya Hiroko

日本美術会会員・国際部 小川和紙継承会会員

比企国際野外展参加

写真作品 「何処へ」 野外設置作品

Where do you go



宮田啓子 Miyata Keiko

京都市立芸術大学西洋画科卒業

個展12回 日本美術会展 日本アンデパンダン展 自由美術展 等

写真作品 「ひとつの松」 油彩 S80

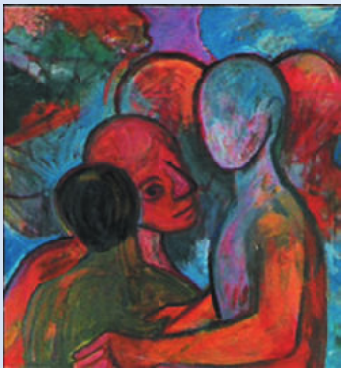
One pine



渡辺皓司 Watanabe Koji
1959～2012日本アンデパンダン展
個展 グループ展多数 国際交流・韓国他4ヶ国 日本美術会会員
写真作品「生きものたちの記録」油彩 S30
Record of Living thing



小野章男 Ono Akio
日本美術会会員 日本アンデパンダン展
新しい人の方へ展
韓中日現代芸術祭出品 豊中市美術協会デザイン部会員・個展
写真作品「他者」油彩
Other persons



片尾照子 Katao Teruko
二科展デザイン部入選・ポスター大賞受賞
韓中日現代芸術祭出品 豊中市美術協会デザイン部会員・個展
写真作品「SUUTO-I、2012」 パステル 700×540cm



小池美紀 Koike Miki
2003～日本アンデパンダン展出品 2009～日韓美術交流展出品
2011～ぎやるり-JINにて個展
写真作品「夢」 パステル



大田眞素巳 Oota Masumi
京都府出身 京都市立芸術大学卒
1979～日本アンデパンダン展出品
グループ展・個展で発表を続ける
写真作品「異空の相」油彩 130×90cm



林恵理子 Hayashi Eriko
2009波止場の響き/横浜岩崎美術館
個展 2007гентアートフェア（ベルギー）
2005日韓中現代美術展
写真作品「Yume」40×120cm



嶋海由光 Narumi Yoshimitsu
1948年生れ 日本アンデパンダン展 地平展
全日本職場美術展 等出品
写真作品「実験室の壁」油彩 F30
Wall of a laboratory



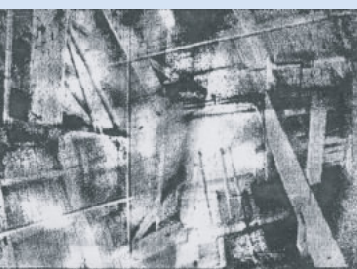
藪内 好 Yabuuchi Takashi
西垣壽一（日本画家・堀川高）師事
金沢美術工芸大学（日本画）日本美術会会員
美術家平和会議会員 平和展等に出品
写真作品「四条上ル下ル（侘助）」日本画
Goes up down SIZYOU(WABISUKE)



竹内 創 Takeuchi Tukururu
日本アンデパンダン展 日本美術会会員
美術家平和会議会員 平和展等に出品
写真作品「Purity50」油彩



相田 勤 Aida Tsutomu
日本美術会附属民美三期卒
日本美術会会員 自由美術協会会員
写真作品「構成2012」Phot Etching
Composition 2012



木村勝明 Kimura Katsuaki
日本アンデパンダン展1972～
日本美術会会員・比企の野外美術展
韓国（公州・加平）国際自然美術展等
写真作品「Man」野外設置作品
200×150×120cm



宮本和郎 Miyamoto Kazuou
東京芸術大学美術学部日本画卒
日本美術会会員 美術家平和会議 日本美術家連盟会員
写真作品「山野の秋果」日本画 P30
Fruit of autumn in hills and fields



渡辺粧子 Watanabe Masako
日本美術会付属研究所本科卒 日本アンデパンダン展 地平展 等
日本美術会会員 地平会員
写真作品「眼が濁る」油彩 F30
Eye becomes muddy



稲尾健二 Inao Kenji
日本美術会会員 日本アンデパンダン展
個展 ぶらびた展 等多数
写真作品「大地の碑」
Monument of the ground



中津川ヒロ子 Nakatsugawa Hiroko
1945 鹿児島県屋久島生れ
個展・屋久島2回・国立・三鷹・銀座 日本美術会会員
写真作品「約束」切り絵
Promise



瀧川みずほ Takigawa Mizuho
個展20回位 選抜展20回位 絵帳制作、
タビストリー インテリアエキスタイル
写真作品「展示風景」



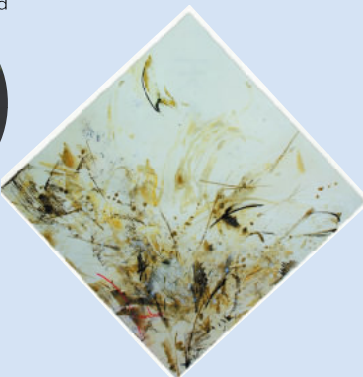
大野恵子 Oono Keiko
1964岐阜県生れ 多摩美術大学油彩科卒
1960～日本アンデパンダン展
個展・グループ展等 日本美術会会員
写真作品「夜の虫」油彩 F3



藤浪佳子 Fujinami Keiko
2000年世田谷で和紙を学ぶ
2004年より九条美術展・日本アンデパンダン展
PAS和紙アートスタジオ
写真作品「菊ながし」850×580cm 楮・パルプ
Passes of TAKENOKO



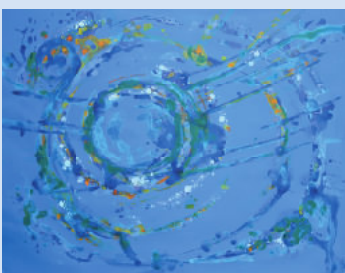
津川純子 Tsugawa Junko
1987 現代日本美術展入選 1988 日本国際美術展入選
1991 広島県美展洋画部門大賞
写真作品「風の韻」油彩 S20
Rhyme of a wind



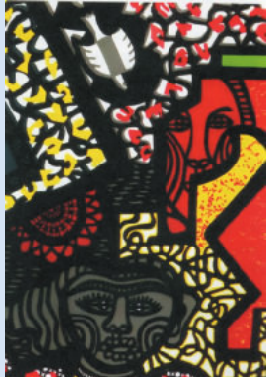
貴志カスケ Kishi Kasuke
1975 京都市立芸術大学彫刻科卒
京都彫刻家協会会長2007、08、10、11、
京都アートカウンシル代表幹事
写真作品「建屋の中で蠢くもの」彫刻 900×900×900mm
Wriggles in a building



貴志早苗 Kishi Sanae
京都市立芸術大学西洋画科卒 Q人の作品展（36回出品）
京都西山高原アトリエ村展（25回）
写真作品「」



藤井剛志 Fujii Takeshi
1935年秋田県横手市に生れ 日本美術会、
日本きりえ協会、東京きりえ美術会会員、個展各地にて開催(21回)
写真作品「悠遠」切り絵



丁 厚子 Cho Atsuko
日本美術会付属研究所本科・専科
銅版画を作田富幸氏に師事
2011自由美術展入選 日本美術会会員
写真作品「悲しみⅡ」銅版画（メソチント）



森 義彦 Mori Yoshihiko
2001～ '11松坂屋静岡店個展
'09渋谷東急本店個展 '11上海アートフェア出品
写真作品「雲の花らんまん」陶器

